



当社が製造する製精密機器用プラスチック極小部品

- 本社所在地：静岡市駿河区中吉田10-69
- 事業概要：樹脂切削加工小ロット・中ロットを得意とする樹脂加工会社として、精密機器用プラスチック極小部品等を製造。
- 常時使用する従業員：99人（2024年10月期）
- 現在の売上高：17億円（2024年10月期）
- 法人番号：5080001001456
- Web：https://www.koowa-tec.co.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
土屋和彦

プラスチックのスペシャリスト集団 プラスチックであれば、どんなものでも削る

当社はプラスチック加工の専門企業である。設立以来、「プロの樹脂加工技術による感動創出型企業を目指す」ことを企業理念に、樹脂（プラスチック）の高度な切削加工等を提供してきた。

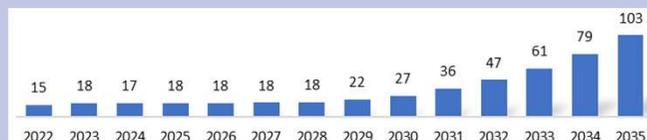
成長産業である半導体製造分野では、従来の金属部材からプラスチックへの代替が進んでおり、当社の技術のニーズが高まっている。そこで、当社の生産能力を拡充することで、成長産業のニーズを捉え、わが国の高度なものづくりを牽引する。

課題解決型企业 プラスチック加工興和

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

2035年の売上高100億円達成に向け、当社の生産体制を拡充し付加価値の高いプラスチック製精密部材を市場に供給する。



売上
(億)

課題

- ・成長産業である半導体分野の製造装置の設計において、金属部材からプラスチック部材への代替が進んでおり、特殊形状のプラスチック部材の加工ニーズが増えており、当社にとって大きな商機が訪れている。しかし、**既存の生産体制では生産量に限界があり、新たな受注に対応できる状態にない。**
- ・生産体制の確立をはかるため、大規模な投資を行い、**量産に特化した新工場を開設することが急務**になっている。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ・大規模な設備投資によって、当社の製造体制を高度化し、**成長産業である半導体分野のプラスチック代替ニーズを取り込む。**
- ・これらの部品は加工難度が高く、当社が保有する高度なプラスチック切削技術が必要である。そのため、当社の技術力と競争力を発揮した事業が展開できる。
- ・日本の高度なものづくりを牽引する立場として、従業員ならびに協力会社の繁栄、雇用を通じた地域貢献を目指す。

実施体制

- ・**熊本新工場では量産に特化し、本社工場で開発した新製品の量産シフトに注力し、当社の生産量を拡充する。**
- ・半導体分野用精密プラスチック部品の開発・製造にあたっては、機密事項も多く、高い要求水準が求められることから、協力企業ならびに取引先メーカーの技術担当者との密な連携と情報共有により、製品開発および量産シフトを進める。
- ・当社既存の人的資産、技術資産を最大限に活用、3Dプリンター等の最新技術も融合させながら、これまでになかった精密部品の開発・量産を進める。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

経営理念：私たちの原点はものづくり。プロの樹脂加工技術による感動創出型企業を目指す

平成9年の設立以来、「プロの樹脂加工技術による感動創出型企業を目指す」ことを企業理念に、樹脂（プラスチック）の高度な切削加工等を提供してきた。当社の製品はバリエーションに富んでおり、小さい製品は0.1mm単位の精緻なネジ製造、10μ (=0.01mm) の穴開け、大きい製品は最大3m×1.5m の板の加工が可能であり、さまざまな業界の多様なニーズに応えている。

→プラスチック加工の主体である射出成形では、このような0.1mm単位で製造を行うことは困難なため、当社の技術は精密性を求める分野において、金属代替としての製品ニーズが高い。

当社の強み

樹脂切削加工、大型樹脂加工、樹脂パイプ加工、溶着 など

- ◆ **プラスチックのスペシャリスト集団。**プラスチックであればどんなものでも削る
- ◆ 30,000件以上の豊富な解決実績
- ◆ 豊富で**多彩な新鋭マシンとマンパワー**で1個～の小ロット・中ロットの樹脂切削の量産をこなす
- ◆ 切削では実現しない**部品形状を3Dプリンター**で実現
- ◆ **1300社の品質をクリア**した経験をもとに、設備・検査環境・検査体制を完備
- ◆ 150台以上の豊富な設備でお客様のニーズに応える
- ◆ プラスチック加工専用の**刃物を自社制作**、各素材に対応した工具により、精度・スピードを向上
- ◆ SDGs の取組で事業持続性を追求



切削、旋盤、ワイヤー放電、センタレス研磨・ラッピング、3Dプリンタ、組立(接着、溶着、溶接、曲げ)など、プラスチック加工に関する幅広い対応力、長年培った樹脂材料への知見、経験をもとに高精度な加工を提供。成長産業をターゲットとして選択肢、そこに資産を集中させることでニーズを取り込み収益基盤を拡充。10年後の当社の売上目標値を100億円規模に設定する。

中長期経営計画の3つの要素

- ①**技術面**：プラスチック精密加工技術を応用し、先端半導体分野のプラスチック代替ニーズを捉える
- ②**経済面**：プラスチック精密加工をリードする立場として、成長分野へ高品質なプラスチック部材を安定供給し、収益基盤を拡充する
- ③**地域・環境面**：SDGsの取組の推進、従業員ならびに協力会社の繁栄、雇用を通じた地域貢献を目指す

